| 学校番号 | １０９ |
|---|---|

# 令和２年度　芸術科（書道）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「書Ⅰ」　（光村出版） | | | | | | |
| 副教材等 | ペン字のこころⅠ　（日本書写教育研究会） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させ、用具用材によって表現の幅が広がること学びましょう。
・平仮名や楷書体・行書体・篆書体など様々な書体を体験し、用具用材を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

## ２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、感性を豊かにして書の伝統と文化についての理解を深める。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b:書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 | 書作品について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 観察<br>ワークシート<br>練習作品<br>自己評価票 | 観察<br>ワークシート<br>練習作品<br>自己評価票<br>清書作品 | 観察<br>ワークシート<br>練習作品<br>自己評価票<br>清書作品 | 観察<br>ワークシート<br>練習作品<br>自己評価票<br>清書作品 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## ４　学習の活動

| 月 | 題材名 | 学習内容･活動 | 主な評価の観点 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|

| | | | a | b | c | d | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 書写から書道へ<br><br>楷書による学習 | 小中学校の書写と高校書道の違いて<br><br>楷書の用筆・運筆について<br>・九成宮醴泉銘<br>・孔子廊堂碑<br>・顔氏家廟碑 | ○ | ○ | | | a：書き手による書風の違いに関心を持つ。<br>b：書風の違いと形成する表現の要素を理解し臨書に活かしている。<br>c：各古典の特徴を理解し、各々の用筆・運筆の技法を習得している。<br>d ： 楷書体の書道史的価値を理解した上で、書風や美を感受している。 | 観察<br>練習作品<br>清書作品<br>自己評価票 |
| 6<br><br>7 | 行書による学習 | 行書の用筆・運筆について<br>蘭停序の作品の特徴<br>・蘭亭序節臨<br>・蘭亭からの一字を団扇に書く | | ○ | ○ | | a：行書の成立過程や字形・用筆の特徴を主体的に知ろうとしている。<br>b：蘭亭序に関心を持ち、その美を味わおうとしている。<br>c：蘭亭序の線質や点画の特徴を理解し、その用筆・運筆の技法を習得している。<br>d ： 蘭亭序の書道史上の価値を理解し、その書風や美を感受している。 | 観察<br>練習作品<br>清書作品<br>自己評価票 |
| 7<br><br>8 | 篆刻を学ぶ<br><br>生活の書 | 印の歴史と用途を学ぶ。<br>作品用に姓名印を作る。<br><br>・硬筆と筆ペン<br>字形を整えるコツ | ○ | <br><br>○ | <br><br>○ | ○ | a：篆刻に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。<br>b：印が使われる場面を想像し、表現効果を意識し印稿を作っている。<br>c：印稿・布字・運刀等の手順と知識や技能を習得している。<br>d ：様々な印を鑑賞し、表現の工夫と効果を感受している。<br>a：硬筆による整った文字に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている<br>b：基本的な字形の整え方を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。<br>c：基礎的・基本的な字形・書式の技法を身に付け表している。<br>d：意思伝達に書を生かすことを理解し、そのよさを味わっている。 | 観察<br>ワークシート<br>押印作品<br><br>観察<br>硬筆ノート |
| 9<br><br>10 | 仮名の学習 | 仮名単体の説明<br>変体仮名の説明<br>基本的な筆使いをマスターする<br>・いろは文字<br>・変体仮名<br>・俳句を書く | | ○ | | ○ | a：仮名について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。<br>b： 省略単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。<br>c：平仮名の単純化された筆使いを身に付け表現している。<br>d：墨色は黒一色ではないことを理解し、その良さを味わっている。 | 観察<br>練習作品<br>清書作品<br>自己評価票 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10<br><br><br><br>11<br><br><br><br>12 | 刻字創作<br><br><br><br><br><br><br><br>細字に挑戦 | 楷書や行書を用いて１字書を行い石膏ボードに刻す。蒲鉾彫り、菱彫り等、彫り方を工夫させる<br>・原稿作り<br>・彫り　・彩色<br><br>筆ペンで写経や年賀状を書く | ○<br><br><br><br><br><br><br><br>○ | ○ | <br><br><br><br><br><br><br><br>○ | ○ | a:書体の美を紙以外の素材で表現することに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。<br>b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。<br>c:彫り方や彩色により、幅広く表現する方法を身に付けている。<br>d:様々な彫り方や彩色による表現効果の違いを感受している。<br>a:筆ペンや小筆を用いての細字の美しい書き方について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている<br>b:写経や年賀状の表現方法を理解し、自らの工夫を施している。<br>c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。<br>d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、その良さを味わっている。 | 観察<br>ワークシート<br>練習作品<br>毛筆原稿<br>刻字作品<br>自己評価票<br><br><br><br><br>観察<br>練習作品<br>清書作品 |
| 1<br><br><br>2<br><br><br>3 | 作品鑑賞<br><br><br>漢字仮名交りの書 | 校内作品展で相互の作品を鑑賞し批評する。<br>各書体や書風に調和する仮名の表現を工夫する・字句選び<br>・構成の工夫 | ○<br><br><br>○ | | <br><br><br>○ | ○<br><br><br>○ | a：書作品に関心を持ち、主体的に鑑賞に取り組んでいる。<br>d ：作品を互いに鑑賞・批評し合うことによって、表現の意図と技法の効果について理解を深めている。<br>a：創作に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。<br>b：表現の狙いを定め、古典の学習を通じて得た知識・技能を活かして構想を練っている。<br>c：自身のイメージを作品化するため、今まで学習した知識・技能を活かしている。<br>d ：作品を互いに鑑賞・批評し合うことによって、表現の意図と技法の効果について理解を深めている。 | 観察<br>鑑賞カード<br><br>観察<br>ワークシート<br>練習作品<br>清書作品<br>自己評価票 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | | | | | |

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。